



## ●本日1月6日(金)のプログラム

- ◎会長年頭挨拶
- ◎干支会員卓話  
寛会員 福島会員 盛会員

## ●来週1月13日(金)のプログラム

- ◎クラブフォーラム

## ●再来週1月20日(金)のプログラム

- ◎職業奉仕委員会担当例会  
テーマ「ロータリーの真の姿とは」  
スピーカー-RI第2510地区2016-17年度地区職業奉仕・基本理念委員会委員長  
玉井 清治 氏(トラベルメイク株式会社代表取締役 函館亀田PC)

## 2016-17年度 地区目標

- 地域と共に活動
- 地域組織の活性化
- 地域と共に

## ●2015-2016年度 IRテーマ



## 上野年度信条

脚下照顧  
きやつかしようこ  
足下を照らして顧り見る  
(自分の足下を見る)

# 23

2017年1月6日(金)発行  
通巻 第2773号

1960年創立  
昭和35年2月5日

## ●第22回例会報告 12月16日(金) 年末家族懇親会 ニュー三幸4階 点鐘 18:00~

●司会/柴田副会長

### ●ロータリーソング 「我等の生業」

### ●会長挨拶 上野会長

○半年~やっと過ぎそうです...今年度最後の例会「期末家族懇親会」を大いに楽しみましょう。後半年度次期の松浦年度まで会員皆さまのご協力ご尽力のほどよろしくお願い致します。

### ●正武家事務員に賞与の授与 上野会長より



一年間お疲れ様でした!

### ●米山奨学金授与 上野会長



#### 蘇 迪亜さん

私はステキアと申します。私がなぜ日本に来たのかという質問について10年前の話からしましょう。

日本を好きになったのは中学生の頃、テレビで日本のアニメを見た時からです。当時、中国のマスコミは政府に情報制限され、民衆の日本への印象は「第二次世界大戦の時我が国を侵略し、我が人民に残酷な殺害、略奪の事をした」というものでした。しかし、テレビに流れた日本アニメやドラマになぜかものすごく惹かれ、こんな素晴らしい作品を作った人たちが本当に凶悪な人なのか。私は遂に国から発信された情報を疑い始めました。

この目で確かめたいと思い、私は2013年大学卒業後、日本への留学を決意しました。親を説得するのが一番困難でした。私は現在の日本は秩序の良い、とても安全な国だと説得し、学費と生活費はバイトと奨学金で、親への負担は減らすと、説得することに成功しました。実際、私は有言実行ができ、日本に来てからバイトと学業を両立し、成績優秀者に学校から選ばれ、ようやく米山の皆さんにお会いできました。入学まで半年余りましたので、アルバイトを始めました。

最初のアルバイトは喫茶店。その後、イオン小樽店サービスカ

- ウンターでアルバイトを始めました。職場は気の利く年配の方々が多く、とても働きやすい職場です。もう一年働きましたが、まだ飽きる気がなく、ずっと勉強になり続けていると思っています。
- 私がいまの仕事をとっても気に入っているのは、仕事の内容だけではなく、一緒に働いている方々が好きなのです。
- 面白い同僚を紹介しましょう。私が最も尊敬する、「渡部さん」という先輩です。渡部さんはいつもお店が混む時仕切って、全局を見ながらみんなを引っ張っています。一番難しい、やりづらい仕事は自分が背負い、簡単な仕事をできる人に回すので、彼女は「万能の渡部さん」と呼ばれています。渡部さんはとても面白い人で、そのツッコミ力は現役の芸能人に負けないほどです。彼女は本、雑誌等たくさん読んでいるからこんなに物知りになってるのでしょ。彼女は時事や政治を批判するのが趣味です。トランプが大統領になる時、彼女は「やってること全部子供ばいじゃないか。あんなのは楽宅便に来た70歳のジジイと一緒にじゃん」という店員さんしか分からない冗談で、皆を爆笑させました。
- 彼女は仕事に対して、真面目な態度をとりながら、冷静に様々な状況に対応してます。上司にへつらうことは全くしません。ですからこんなに能力があるのに全く出世できません。
- 彼女は仕事の合理性を追求し、何度もみんなの習慣を無理やりに変えて適応させようし、しかもそれを成功させました。それは難しい、素晴らしいことだと思います。組織の習慣を変えるのは、じつと習慣や常識を変えながら日本人にとって、どれほど難しいか、在席の皆さんはご存知だと思います。彼女はアイホンのアップル社のように、強力的な手段、あるいは才能で周りの人を影響し続けています。
- このような方と一緒に働きたい。この方のような社会人になりたい。みんなにとって不可欠な存在になりたい。ということで、私は今年、就職活動を始めました。就活の軸、絶対これだけ譲れないことは、「どこで、どんな仕事をするより、どんな人と一緒に働きたい」でした。私は渡部さんのような存在を探していました。就活初期、未知の世界に踏み込んで、私は焦りながら、表面ののしか見ませんでした。とりあえず面白い社会人と一緒に働きたい、というのが絶対譲れたくない軸になりました。説明会で面白い社員がいるかどうかは私の会社を判断する標準になりました。その中でたくさんキラキラしている社会人と出会ったのは総合商社の説明会でした。私は総合商社に惚れました。総合商



社はレベル高い業界だと思われていて、私はこの業界に入るために、いろいろ努力しましたが、残念ながら失敗してしまいました。最も入りたい会社を最終面接で落とされ、その時はもう心が死んだような辛い思いでした。その後の就活も志望動機が強くないなどの原因で上手く行かず、就活をやめて国に帰ろうとも考えました。その時、うちの指導先生や、いつもお世話してくれた簿記の先生、学校の友達、バイト先の同僚、米山の皆さんに励まされまして、就活を続けることにしました。そしてようやく今の会社から内定を貰い、就活を終えることが出来ました。

米山クラブの皆さん、支えてくれて、本当に感謝しております。この恩はいつか、必ず、社会や、他の助けを求める人にお返しします。

最初に戻りましょう。現在、私は日本人をどう思っていますか。これは就活のとき一番された質問です。この問題に答えるの少し飽きています(笑)。私が思っている日本人は真面目で、時々真面目すぎて、変化に欠ける人たちだと思います。日本人は集団主義で、集団に帰属するのが好きです。政治、歴史に無関心だと思っているのですが、それは本当に正しいかどうか、みんなと

- お付き合いさせていただき勉強しようと思っています。歴史の問題について、私は、中国人は今の日本人に戦争の罪を問わず。
- 日本人は歴史にちゃんと向き合うべき。そう思います。中日両国はお互いに不可欠な存在ということを確認したうえで、友好、輝く未来を一緒に作りましょう。

■ **幹事報告** ■ 三栖幹事

- ○お陰様で上野年度半年が過ぎようとしておりますが事務的な幹事の仕事に追われて振り返るような余裕は持てませんがやっと上期最終の「期末家族懇親会」を迎えることができました本日は会員そしてご参加のご家族の方々大いに楽しんで下さい。
- ○来週・再来週は「休会」となりますのでご注意ください。

■ **メーキャップ受付** ■ 12月16日(金)分

- 山田 雅敏氏、久末 智章氏、谷内 馨一氏、松田 雅伸氏、佐藤 慶一氏、柴田 憲彦氏、吉村 克之氏、西條 文雪氏、佐藤 正嗣氏、大崎 誓也氏、佐々木一晃氏(小樽RC)

■ **例会プログラム**

# 期末家族懇親会



■ **開会挨拶** 上野会長

例年より会員参加数が若干少なめなのですが、今宵一刻大いに楽しんで下さい。

■ **会員親睦委員会**  
齊藤親睦委員長より

